

挑む!

バッハ国際コンクール優勝

富田 一樹さん(28)

楽器の王様 魅力広めたい



大阪府摂津市出身。大阪音楽大音楽専攻科を修了し、ドイツのリュベック音楽大大学院に在籍中。編曲や指揮も行っている。

昨年夏、ドイツのライプツヒで開かれた「バッハ国際コンクール」のオルガン部門で、日本人として初めて優勝した。「楽器の王様」と言われるパイプオルガンを駆使し、半世紀以上の歴史を誇るコンクールでその才能を認められた。今年4月に大阪であった凱旋コンサートは、発売早々に完売した。コンクールの審査員にはバッハ研究者もつわものぞろいだった。「『心に響くように』と願って、情熱的に弾

たのがよかったのかもしれない」クラシック音楽好きの母の影響で、子どものころからピアノに親しんでいた。中学生のときにバッハのパイプオルガン曲のCDを聴き、感銘を受ける。「音色の美しさと多彩なハーモニーが魅力的で、和音の好きな自分の思いを表現してくれる楽器でした」大阪音楽大に進み、オルガンを専攻。指導教員の強い勧めもあって本場ドイツへ渡り、有名オルガニストに才能を認められる。2015年から、ドイツの名門リュベック音楽大大学院でオルガン漬けの日々を送る。

留学した音楽家の卵はなかなか帰国しないケースが多いなか、大学院を修了すればすぐに帰国するつもりだ。「パイプオルガンは日本ではメジャーではない。少しでもその魅力を広めていけたら」

文・写真 谷辺晃子

記者から

パイプオルガンと自由自在に戯れている姿に未来の巨匠をみた。期待しています！